

令和7年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<可茂地区> 八百津中学校 八百津東部中学校 八百津高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」

～学びと将来とをつなぐ、地域と連携したキャリア教育の充実～

1. さらなる連携の推進 2. 確かな学力をつける 3. 生きる力を育む

(2) 連携型中高一貫教育の令和7年度の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める。
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	概要及び成果と課題
さらなる連携	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校では昨年度に引き続き職場体験活動を実施することができた。八百津高校では1年生51名が保育園、小学校を含む24社でインターンシップに参加し(1/29～31)、2年生の希望者23名が企業21社の協力で毎週木曜日にデュアル実習を実施することができた。 ○中学生体験入学、オープンスクールの際に「デュアルシステム説明会」を実施した。 ○「デュアルシステム成果発表会」(2/19)に中学2年生が参加した。 <p>▲今後も継続して実施できるように、協力企業とプログラムの運営に関して検証を行う。</p>
	連携型入試の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジテストの継続的な取組、高校側による定期的なチェックと指導を行った。(4/26、5/1、6/3、11/25、11/26) ○実力養成セミナー(7/30～8/1)を連携の2中学校それぞれを会場として実施した。 <p>▲チャレンジテストの重要性の生徒・職員への周知徹底</p>
確かな学力	相互理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○連携中学校3年生体験入学(6/3)で連携中学卒業生による説明や交流の場面を設定した。 <p>▲継続的で分かりやすい発信方法を模索する。交流活動(進路説明会、PTA見学会、部活動やボランティア活動)を模索する。</p>



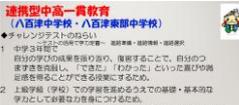
【実習風景】



【個別チェック】



【体験入学での交流会】

確かな学力	交流授業の充実	<p>○高校の授業公開(11/4)により高校生のつまづきを把握することで、中学段階で何に留意すべきか等について共通認識ができた。</p> <p>○T Tによる交流授業は生徒の実態把握がしやすく教える教師生徒双方に効果がある。</p> <p>○東部中への出前授業(1/21)ではキャリア教育と面接指導について実施した。</p> <p>▲生徒の能動的な学びを引き出すT T指導の在り方、出前授業の内容の模索検討を行う。</p>	 <p>【出前授業の様子】</p>
	6年間を見通した指導の充実	<p>○中高連携学力養成セミナーを夏休みの3日間2中学校を会場に実施した。(7/30~8/1)</p> <p>▲学力養成セミナーの2中学校別の3日間開催の日程調整と参加者の増加策</p>	 <p>【学力養成セミナーの様子】</p>
生きる力	チャレンジテストの充実	<p>○八百津高校教員が八百津東部中と八百津中の高校説明会(4/26、5/1)において、チャレンジテストの重要性(高校入試の基礎学力の定着)を説明した。</p> <p>▲チャレンジテストの重要性について中学生及び保護者の方に理解していただけるような啓発活動を継続する。</p>	 <p>【チャレンジテスト説明】</p>
	地域や異校種間連携の強化	<p>○八百津祭(4/12~13)では、昨年に引き続き、八百津中学、八百津高校の体育系部活動及び有志の生徒が山車の曳き手として力を発揮し、地元より高評価を得た。</p> <p>▲参加者(祭り)の減少傾向が考えられるため、早い段階から募集を募り、人々・地域などと触れ合うことを通して、つながりの大切さを伝えていきたい。</p>	 <p>【八百津祭りの様子】</p>
	人道教育の強化	<p>○5/28に各学年ひとクラスが杉原千畝記念館25周年記念事業「正しいことをしよう」をテーマに杉原まどか氏の講演を聞き、エッセイコンテスト~正義を生み出すのは、私たち~に応募した。また、1/13には1年生全員に対して杉原千畝についての学習をイスラエル出身のハニトさんを講師に人道教育を行った。</p> <p>▲人道教育での学びを日常の場面に落とし込める実践力の育成。</p> <p>▲地域や行政との日常的な連携の維持・強化。</p>	 <p>【講演会の様子】</p>